

ゆうゆう 100 STAGE

京都〈ゆうゆうの里〉

〒611-0022 宇治市白川鍋倉山14-1
☎ 0120-8739-65



〈NO.88・季刊〉
発行/2018年7月1日

もしもの時に、 いつもそばにある安心

終の棲家を検討する上で重要なことのひとつに「医療面の安心」と考える方も多いのではないのでしょうか。

京都〈ゆうゆうの里〉には、同じ日本老人福祉財団が運営する「京都〈ゆうゆうの里〉診療所」が併設されています。診療科目は内科・整形外科・精神科です。薬局や入院病室（ベッド数9床）の設備もあり、診療所内にあるリハビリ室では、理学療法士による機能訓練やマッサージ師によるマッサージも行っています。

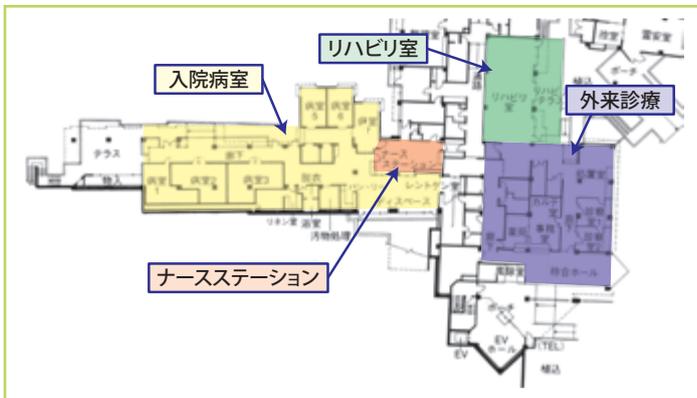
24時間緊急時の対応が可能

夜中に気分が悪くなったり、急に倒れられても、医師や看護師が常駐しておりますので、適切な処置をいたします。お元気な時も介護が必要になってからも、健康についての相談先が近くにあるだけで、日常生活の安心感がぐっとあがります。

介護と連携した医療

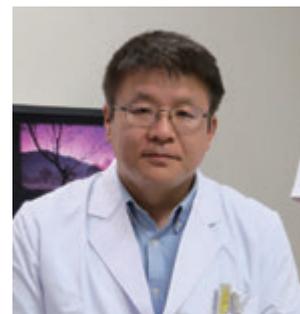
京都〈ゆうゆうの里〉診療所では、協力医療機関として「人間ドック（年1回）」、「入居者の緊急時の対応」、「他の医療機関への紹介」、「健康相談」などを行い、日常的に体調やお薬の相談を承っています。

また、介護職員と連携しながら、ご入居者の健康管理や終末期の看取り介護を行なっていることも特長のひとつです。



診療所見取り図

診療所からひとこと



わ こと
松田和朗 所長

ご入居者の皆様の健康と安心を目指して、頼れるホームドクターとなれるよう精進してまいります。



伊藤智美 主任

医療と介護が連携を図り、継続的に健康管理を行うことで、ご入居者に安心を提供できる診療所を目指しています。

施設見学の際に、診療所内もご案内可能です。ご希望の方は、お気軽にお問合せください。

京都〈ゆうゆうの里〉入居者インタビュー

〜今がいちばん幸せです〜

岸田 英子様 (82歳)



今回は、里でいつもにこやかに暮らされている、入居1年10カ月目の岸田様にお話を伺いました。

新たな出発

姑が子宮がんで他界して5年後、夫は食道癌のため48歳で亡くなりました。その頃から30年余り携わってきた、自殺防止センターのボランティア活動で会得したことは、『どんな辛い人生であっても無駄なものはない』という事でした。自由のなかった生活に、これからは何でもやってみようと思う勇気を与えてくれました。仕事の合間に、社交ダンス、習字、絵画教室に通い、忙しいけれど充実した毎日でした。二人の子供もボーイスカウト活動に励み、優しく、遅く育ってくれました。友人の一人が老人ホームの契約を

したと聞き、自分も老後の事を考えるようになりました。新聞で、京都〈ゆうゆうの里〉の事を知り、すぐに見学に参りました。スタッフさんの細やかな対応に感激したのを、今でも覚えています。安心の介護体制があるのももちろんですが、里の自然豊かな環境がとても気に入りました。シャツルバスで自由に出かけられ、里の中でもジムやサークルが楽しめるように感じました。こなら子供達に世話をかけずに、残された人生、安心して生きていけると思い、入居を即決しました。



社交ダンスの発表会にて

今を楽しむ

入居してからは、自由がいっぱいでとにかく楽しい毎日です。『今この時が一番若い時。できる事があれば何でも』の精神で気になるものは何でも挑戦したいと思っています。

最近挑戦しているのはカラオケ。自分の喋る声が小さいのを克服したくて、カラオケサークルに参加させていただいています。昔は歌えるような心境じゃなかったから歌も全然知らないのに、新しい歌を楽譜付きで教えて下さるのが何より有り難いです。「最近声が大きくなったね」と言われるようになって、嬉しく思っています。



カラオケサークルメンバーで発声練習中

いつかまたやりたいと思っていた社交ダンスも、里のサークルに参加させていただいています。昔やっていた当時の雰囲気が出てきます。



自作の墨彩画「深淵」

入居しても、それまでの人間関係を断ち切る必要はなく、以前から習っている大阪の墨彩画の教室にも続けて通っています。最近、宇治市の生涯学習センターの史跡を歩くウォーキングにも参加しています。昔からの友人に加え、新しい友人が、里の中にも外にも広がっていきます。人生の中で今がいちばん幸せです。



いつも新しい事にチャレンジされる岸田様。これからも彩りのある人生を謳歌してください。



「里内のご入居者の生活をもっと詳しくのぞいてみましょう」

人気の共用施設ベスト3

「日々の生活を楽しむために」

京都（ゆうゆうの里）では、ご

入居者の豊かな暮らしのお役にたてるよう共用施設が充実しております。今回は共用施設の利用状況と、ご入居者がどのように利用されているのか調べてみました。

京都〈ゆうゆうの里〉共用施設

温水プール、コミュニティホール、アスレチックジム、ホビールーム、麻雀室、陶芸室、浴場、カラオケルーム、楽器演奏室、図書室、娯楽室、あずまや、多目的ホール、集会室、売店、食堂、葬祭ホール、機能訓練室、一坪農園、理美容室、ゲストルーム、コインランドリー、カフェテリア喫茶白川

第一位：アスレチックジム

一カ月利用者数（累計）約680人

現在、170名が専属トレーナーの指導の下、アスレチックジムでトレーニングされています。



○アスレチックジムで身体を動かした後は、気分がすっきりして気持ちがいい
(70代男性)

○トレーニングを続けて13年になります。お陰様で風邪もひきにくくなりました
(70代女性)

第二位：温水プール

一カ月利用者（累計）約420人

25mコースが2レーンあり、健康プログラム「さわやかアクア」も好評です。



○クロールで25m泳げるようになりました
(70代女性)

○入居して8年、プールには毎日通っています。坂道も気になります
(80代男性)

第三位：楽器演奏室

一カ月利用者（累計）約150人

グラランドピアノが設置されている個室です。ピアノ以外の楽器も演奏できます。防音設備も整備されているので、気兼ねなく音楽を楽しめます。



○入居してからピアノを始めました。好きな曲を演奏するのが目標です
(70代女性)

○フルートが趣味で時間があれば楽器演奏室を利用しています
(70代女性)

生活サービスク

コミュニティ担当佐々木主任



ご入居者の皆様に、里での生活を楽しくするために、

共用施設の予約や、サークル活動の立ち上げ等のお手伝いをしております。

ご挨拶



京都〈ゆうゆうの里〉
施設長

小野 信夫

今年、4月1日より、京都〈ゆうゆうの里〉の施設長となりました。

平成22年4月に財団に入職後、本部で、サービス支援部、調査企画室、情報システム室、監査室の仕事をやってまいりました。この間、施設間共同研究や大学との研究、中期事業計画の策定、新規事業の企画、財団PRビデオの作成等を経験させていただきました。

これから施設長として、入居者にとってより暮らしやすくなること、職員にとつてさらに働きやすくなることを目指し、誠心誠意努力してまいりたいと考えております。

京都〈ゆうゆうの里〉は、入居時自立で、充実した介護と医療のもと、出来るだけ元気で最後まで暮らしていただくためのコミュニケーション創りを進めています。

四季折々、行事やイベントを実施しておりますので、納得のゆくまで何度でも見学会や体験入居などご活用いただき、京都〈ゆうゆうの里〉の良さを感じていただきたいと思います。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

販売居室 残り3戸

京都〈ゆうゆうの里〉では、今年の6月から1101号室と1102号室を販売しております。開放的なテラス型居室が好評につき、おかげさまで販売居室が残り3室になりました。今のうちに、見学や体験入居をされてはいかがでしょうか。里の様子や夏の暑さなどを体感しに、ぜひお越しください。



1102号室 テラス型居室
Eタイプ(60.06㎡)
1人入居…3,750万円
2人入居…5,079万円

体験入居の費用

- ・お一人様 三〇〇〇円(税込み)
- ・1泊2日 (夕食・朝食付)

お部屋には、浴衣・タオル類・洗面道具一式をご用意しております。2〜3泊することも可能ですので、是非、お気軽に体験入居にお越しください。(事前申込が必要です)

バス見学会のご案内

左記のとおり、バス見学会を開催します。ぜひ、皆さまお誘い合わせの上、ご参加ください。

日時／10月13日(土)

集合／●四條烏丸コース(京都駅経由) ●

四條烏丸交差点付近 午前9時40分
京都駅八条口ホテル京阪前【経由】
午前9時55分

●宇治コース●

近鉄大久保駅前 午前10時15分
J R宇治駅前【経由】
午前10時30分

京阪宇治駅前【経由】
午前10時35分

参加費／お一人様一〇〇〇円(昼食付・税込)
定員／四條烏丸・宇治コースとも各25名
(事前申込が必要です)

お申し込み・お問い合わせは

0120-8739-65

京都〈ゆうゆうの里〉まで